

JENESYS 日本・ブルネイエネルギー技術交流（招へい）の記録

1. プログラム概要

【目的】液化天然ガス（LNG）を主としたエネルギー供給国であるブルネイの若手行政官及び国営エネルギー企業担当官を招へいし、政府機関や自治体による講義やエネルギー関連施設の視察を通じて、日本とブルネイのエネルギー分野における協力について理解を深め、両国の経済協力関係を更に発展させることを目的に実施しました。

【参加者】ブルネイの若手行政官、国営エネルギー企業担当官 6名

【訪問地・人数】東京都・長野県 6名

【日程】

■ プレプログラム：

7月24日（月曜日） 【来日前オリエンテーション】

【動画視聴】「日本と国連」

講師：外務省総合外交政策局国連政策課 首席事務官 金戸 健太郎氏

指定期間 【課題学習（動画配信）】「日本理解講義」、「日本文化理解（京都）」、「日本語」

■ 招へいプログラム：

8月2日（水曜日） 成田国際空港より入国

【来日時オリエンテーション】

【テーマ関連講義】「日本とブルネイのエネルギー分野における協力」

講師：資源エネルギー庁長官官房国際課 係長 猪里 薫氏

8月3日（木曜日） 【視察】東芝未来科学館、深川江戸資料館

8月4日（金曜日） 東京都から長野県へ移動

【テーマ関連講義】「長野県の自然エネルギー」

講師：長野県北アルプス地域振興局環境課 松沢 雄貴氏

【視察】ソーラーカナモリ太陽光発電所

【視察】北アルプスエコパーク

【日本文化体験】浴衣（浴衣祭り）

8月5日（土曜日） 【表敬訪問】長野県北安曇郡白馬村 村長 丸山 俊郎氏

【視察】白馬平川小水力発電所

【ホストファミリー対面式・ホームステイ】白馬村

8月6日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、アクション・プラン作成）

8月7日（月曜日） 長野県から東京都へ移動

【報告会】

8月8日（火曜日） 成田国際空港より出国

2. 記録写真

プレプログラム

	
7月24日【来日前オリエンテーション】	7月24日【動画視聴】「日本と国連」

招へいプログラム

	
8月2日【テーマ関連講義】「日本とブルネイのエネルギー分野における協力」	8月3日【視察】東芝未来科学館
	
8月3日【視察】深川江戸資料館	8月4日【視察】ソーラーカナモリ太陽光発電所

	
8月4日【視察】北アルプスエコパーク（ごみ処理施設）近隣で撮影	8月4日【日本文化体験】浴衣（浴衣祭り）
	
8月5日【表敬訪問】白馬村長丸山俊郎氏と記念撮影	8月5日【視察】白馬平川小水力発電所
	
8月6日【歓送会】ホストファミリーと高山植物園にて記念撮影	8月6日【ワークショップ】
	
8月7日【報告会】ブルネイ大使館講評	8月7日【報告会】修了証書授与式

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 行政官

多くの知見を得られました。エネルギー資源が豊富にあり、室温 16 度に設定した日々を送るブルネイ社会は日本と対照的でした。政府レベルでも自治体レベルでもエネルギー利用の高度化に真剣に取り組む日本の姿勢を理解できました。

◆ 行政官

資源エネルギー庁によるテーマ関連講義は有益な情報が多く、多岐に亘ったエネルギー課題に取り組む日本の実情を学び、ブルネイとのエネルギー協力に向けた事業検討が進められていることは友好的で喜ばしいものでした。今後、このプログラムでの経験を活かして2国間の協力関係を続けていきたいです。

◆ 国営エネルギー企業担当官

東京の現代的なライフスタイルと長野の美しい山々の景色を体験できたことが印象的でした。長野県では、その美しさを保つためクリーンエネルギーに対する意識が高いことに感銘を受けました。視察や講義を通じて、天然の資源をそのままに保ちながら現代技術を推進することが可能であることがわかりました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ テーマ関連講義講師

皆さんの熱心な質問や積極的な姿勢にやりがいを感じました。その関心の高さや意欲は私の想像を超えるものでした。来年は日・ブルネイ外交関係開設40周年ということで、両国にとって大事な年になりますが、二国間関係の発展に向け、またこのような機会があると幸いです。

◆ 地方協力団体

遠路はるばる長野までお越しいただき、誠にありがとうございました。ホームステイも含め、お楽しみいただけた様子を見て、私たちも嬉しく思います。大変実りのある時間でした。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2023 年 8 月 24 日（Instagram） 長野県大町市にある金森建設グループのソーラ一金森株式会社の太陽光発電ステーションを視察しました。	2023 年 8 月 2 日（borneobulletin.com.bn） ブルネイの代表団が日本でエネルギー技術を調査。

 ブルネイから訪日団が来日した。日本国内の関係機関との意見交換や施設の視察などを通じて、日本のエネルギー技術開発、日本政府や自治体が行うエネルギー行政についての見識を深めた。	 ブルネイ王国の視察団が来られました。JENESYS 日本・ブルネイエネルギー技術交流の一環として弊社の大規模ソーラー発電所を視察され、社員より太陽光エネルギーの説明を受けられました。
2023 年 8 月 3 日（ASEAN PORTAL） 外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS」の一環として、6 名のブルネイの行政官とエネルギー関連企業の関係者が 7 日の日程で東京都と長野県を訪問しました。ブルネイからの招へい者は、日本国内の関係機関との意見交換や施設の視察などを通じて、日本のエネルギー技術開発、日本政府や自治体が行うエネルギー行政についての見識を深めた。	2023 年 8 月 9 日（金森建設グループ HP） ソーラーカナモリの大町市三日町の発電所へブルネイ王国の視察団が来られました。JENESYS 日本・ブルネイエネルギー技術交流の一環として弊社の大規模ソーラー発電所を視察され、社員より太陽光エネルギーの説明を受けられました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

 Japan's Friendship Ties Programs JENESYS 2nd - 8th AUGUST 2023	 BRUNEI-JAPAN ENERGY TECHNOLOGY EXCHANGE BRUNEI LNG JENESYS
【訪日中の学び】 伝統や文化の継承に努める姿勢が至る所に感じられました。お寺や浴衣から博物館、オリンピックの遺産まで多岐に亘り、文化の多様性がありました。盲人用信号機やバリアフリーなど他者へ配慮している社会への包括的な意識を知ることができました。 【エネルギー技術の学び】 日本とブルネイのエネルギー状況を比較すると、日本は環境に配慮した技術を多く導入し、	【訪日中の学び】 子供たちだけで遊べる場所が多く、それだけ安全なのだと感じました。東芝科学未来館には夏休みだったので、多くの子どもたちが訪れていました。楽しみながら科学を学べるコンセプトが新鮮でした。規律正しい人々、充実した公共交通機関網も印象的でした。 【エネルギー技術の学び】 資源エネルギー庁の講義と地方自治体での学びから、日本の新技術や再生可能エネルギー移行

小水力発電やエコパークのゴミ焼却炉が主流です。一方、ブルネイはガスタービンや石炭火力発電が中心で、ゴミ処理は埋め立てが主な方法です。また再エネ・自然エネルギーにおいては、追いついていない状況で、太陽光発電も始まったばかりです。自家屋根へのパネル設置など、日本に学ぶべき点が多々ありました。 【アクション・プラン】 北アルプスエコパークのリサイクルの取り組みに感化され、国民のごみ分別意識向上のために、関連 NGO の協力を得ながら、グループメンバー全員で、3 か月以内にブルネイ国民のゴミ分別知識を調査・分析します。その後、2050 年のカーボンゼロ目標に向けて、調査結果を基にリサイクル・ごみ分別を段階的に導入していきます。廃棄物の分別重要性の知識・意識を普及し、関係機関・関係者と共有を目指します。	のロードマップと施策を理解しました。高低差や急流を利用する小水力発電のコンセプト、既存施設を有効活用するアイデア、分別ゴミ処理・リサイクルでの省エネの重要性が印象的でした。夏より冬に太陽光発電が多い事実も意外でした。 【アクション・プラン】 ブルネイ LNG で廃棄物分別を始めます。個々の行動が温室効果ガス削減に繋がり、気候変動を緩和します。HLP（健康的生活増進）キャンペーンや Go Green（持続可能な循環型社会を啓蒙する）活動で環境意識を高め、ニュースレターやポスター、メールなどで情報発信し、職場だけでなく親類にも広め、環境保護に貢献します。
--	---

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター(JICE)